

今年度の長期実習が終了しました

東紀州地域の豊かさの中で…実り多き東紀州実習を終えて

栢森 和重(東紀州実習担当)

教職大学院が始まって以来今年で5回目となる東紀州長期実習を9月下旬～10月にかけて実施しました。この実習は「特色ある取組を進めている東紀州地域の学校教育活動から学ぶ」ことを目的としており、本年度は、現職教員院生9人と学部新卒等院生7人が、尾鷲市教育委員会、熊野市教育委員会、御浜町教育委員会、三重県立木本高等学校のご理解ご支援の下、実習をおこないました。実習校のみなさまには事前の受け入れ準備や環境の整備、実習期間中の実習生へのご支援及びご配慮等をいただき、心より感謝いたします。また、三重大学東紀州教育学舎の先生方、スタッフのみなさまにも温かいご支援をいただきました。

院生は今回の実習を通して、多くのことを学び感じとして、今後の取組へのヒントを得たようです。また、同じ東紀州教育学舎に宿泊をし、リフレクションをしたり、情報の交換をしたりしたこととてもよかったと、好評でした。2週間という期間でしたが、何よりも東紀州地域のみなさまの温かさやこの地域の豊かさ、地域の魅力そのものにふれることができたことは大収穫であったと思います。コロナ禍での実習を様々な配慮をしつつ受け入れていただきました当該教育委員会、各実習校のみなさまに改めてお礼申し上げます。11月25日には、東紀州長期実習成果報告会をおこないました。今回の実習で学んだことを、今後の学修にいかしていきたいと思ひます。

東紀州実習成果報告会
のレジュメから言葉
を集めました

全員が協力して取り組むことの重要性

「対話」によって「答えを導くためのプロセス」を大切にした授業

私が忘れていた何かを思い出させてくれた

多様な人とかかわる中、他者を気遣い他者を知り、同時に自分も成長していける環境がつくられた学校

学校の子どもはみんなでみる

人なつっこく元気いっぱい 素直かつ純粋

授業も楽しく。仕事も楽しく。を合言葉に職員室の明るい雰囲気を作り出す

信頼関係を築くには、同じ空間、時間を共有することが大事

教師の子ども理解が改めて大切であると感じた

省察、聴きあう関係、ビジョンが大切
それらは、同僚性を支えるもの「めあて・まとめ・ふりかえり」という
流れがしっかりとした授業

すごく丁寧に問題の1つ1つのポイントを見ていた

子どもが学校内の全ての人間と関わりがある

全ての生徒の活動を止めない工夫

若手教員の生き生きとした姿に感銘を受けた

5歳児も含めた「10年のつながり」

連携校実習を終えて

田邊 正明(連携校実習担当)

今年度の連携校長期実習が、すべて終了しました。5期生9名、4期生7名が、津市・四日市市・多気町地域の小学校11校・中学校4校・高等学校2校、教育関係施設3所の計20の学校・施設において実習させていただきました。特徴的なのは、院生の学修テーマを深めるために、一人で複数校や複数施設において実習したり、一校で複数名の院生が実習したことです。また、終息を見せないコロナ禍対応のために、実習時期の設定や変更等にも柔軟に対応していただきましたので、院生の実習時期(期間)が、さまざまになっております。院生の希望や実習実現のためとはいえ、各学校長様を始めとする関係教職員の皆様、或いは管轄の津市教育委員会様や四日市市教育委員会様並びに三重県教育委員会様には、大変お世話をかけました。有難うございました。

三重大学教職大学院は、本年度から大学院の一本化の新体制になりました。院生も増加して、それに対応した長期実習の内容が改訂されました。特別支援教育分野の院生の連携校実習は県立特別支援学校で固定化されますが、それ以外の院生の従来からある実習校希望の聞き取りから始まり実習終了するまでのプロセスや大学院カリキュラム上の位置づけは変更なくそのままです。大きな変更点としては、現職教員院生は変更しませんが、学部新卒院生の後期連携校実習(40時間)と東紀州実習(80時間)は、原則二者択一制でどちらかの選択となりました。来年度の連携校実習予定校の関係者の皆様、よろしくお願いたします。打合せ懇談の際に詳細をご説明させていただきます。

最後に、実習終了にあたり、良好を通り越して感動すら覚えた院生がおります。実習終了日には、実習校の児童生徒等の別れに涙さえ流した者もいたと聞いております。担当として、実習校に対して深く深く感謝申し上げます。

「深い学びにつながる習得・活用」の
授業実践

「自ら進んで学ぶ子」の姿をめざす教師の働
きかけ、「自己効力感」に対する働きかけ

主体的な学習態度やア
ウトプットの積み重ね
「経験への開かれ」
学びと成長のエンジン

連携校実習成果報告会
のレジュメから言葉を集
めました

国語科の系統的指導

かかわりの質的変容

ラポール形成

「学習指導」を中核とする
学校の同僚性構築

「書く活動」に注力した系
統的な学び、考えや立場
を明確にした授業

授業規律をしっかりと
学び合いの基本は
聴き合う仲間づくり

4期生 最終成果報告会のお知らせ



下記の通り、4期生(2020年度入学生)の最終成果報告会を開催します。学内の方は対面会場で、学外の方はオンラインウェブ会議システム「Zoom」を用いての参加となります。どなたでも参加できますが、事前に申し込みが必要です。4期生の学修成果を見届けてください。

日 程

令和4年2月12日(土)9:15開始

申込方法

令和4年2月8日(火)までに【info-mkd@edu.mie-u.ac.jp】宛に参加希望と「お名前」「所属」を記入したメールを送信してください。

編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻(教職大学院)入試広報部会

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 ☎ info-mkd@edu.mie-u.ac.jp

三重大学教育学部・教育学研究科ホームページ <https://www.edu.mie-u.ac.jp/>